

プレスリリース

ジャパンシステム、SSH 指定校、熊本県立天草高校に「データを読み解く」をテーマに講義を提供
～地域課題解決を目指す天草研究開発センターを拠点とした ESG 活動として～

ジャパンシステム株式会社（本社：東京都渋谷区、代表執行役社長：斎藤英明、以下ジャパンシステム）は、熊本県立天草高校（熊本県天草市、校長：馬場 純二、以下天草高校）が、地域の現状と課題の理解、知的好奇心の喚起を目的として独自に履修化する科目「天草サイエンス」向けに、「データを読み解く／コロナ禍と観光業をデータから見る」をテーマとする講義を提供しました。

天草高校は、全国で 218 校（熊本県内 5 校）が指定されている文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（以下、SSH）の一つで、同校は「地域の豊かな自然環境の中で多様な能力を身に付け、世界に飛躍する科学技術人材の育成」を研究開発課題に掲げ、国内外の大学や企業と連携しながら、研究成果を海外でも発表するなど、次世代人材の育成に積極的に取り組まれています。

■熊本県立天草高校

創立 126 年を迎える熊本県内有数の進学校

2017 年度からは SSH 指定を受け、「地域の豊かな自然環境の中で多様な能力を身に付け、世界に飛躍する科学技術人材の育成」を目指し、より一層積極的な活動に取り組む



ジャパンシステムが天草高校に講義を提供するのは昨年に続き 2 回目で、昨年の講義が高評価だったことをうけ、今年も「観光」と「データ化」をテーマとした講義を提供することとなりました。

ジャパンシステムは、IT 技術により地域課題解決を目指す地域連携拠点として 2018 年に天草研究開発センターを開設し、天草市や観光協会等と協同して課題解決のための実証実験や取り組みを行っています。今回の講義内容も、実証実験からソリューション化が実現した車両動態解析ソリューション「輪 DACHI」から得られた活きたデータを活用し、データ化の重要性や活用の有用性と留意点などを盛り込んだ内容としており、受講した生徒の皆さんからは、テーマに対する関心や課題意識の高まりを裏付けるアンケート結果や、多くの質問をいただくなど好評なフィードバックをいただきました。ジャパンシステムは、これまでもデータ分析やアプリケーション開発に関する質問への対応などの支援を行っており、これら活動を SDGs や ESG 活動の一環として位置付け、今後も積極的に地域との連携・取り組みを進めていく方針です。

SDGs への貢献



- ・次世代人材の育成
- ・I T 技術による地域課題解決支援
- ・教育機関、地域との協力

ジャパンシステム株式会社について

社名	: ジャパンシステム株式会社
本社	: 〒151-8404 東京都渋谷区代々木 1-22-1 代々木 1 丁目ビル
設立	: 1969 年 6 月
資本金	: 1 億円
代表者	: 代表執行役社長 齋藤 英明
事業内容	: 業務アプリケーション・ソフトウェア開発 インフラ導入・構築サービス 業務自動化・効率化ソリューション ビジネスインテリジェンスソリューション クラウド・ERP ソリューション
URL	: https://www.japan-systems.co.jp/

<本リリースに関するお問い合わせ先>

ジャパンシステム株式会社 経営企画室

TEL : 03-5309-0385 FAX : 03-5309-0311 E-mail : js_pr@ml.japan-systems.co.jp